

○ 教科・道徳・総合的な学習の時間の指導

理科教育の指導充実の取組

吉川 浩之 教諭 北海道長沼高等学校

長年におたり、高等学校の理科教諭として、地域の自然や地域人材を積極的に活用し、地域との交流を通じて、生徒に自然や生命の大切さについて学ばせる環境教育に尽力するなど、創意工夫ある教育活動を展開している。

特に、大学、官公庁等と連携を図り、大学教員によるキノコの生態に関する講義や長沼町職員による遊水地にタンチョウ



を呼び戻す取組に係る現地調査を授業に取り入れるなど、地域の教育資源を活用して生徒の学習意欲の向上を図っており、その取組は他の模範となっている。

また、「北海道高等学校理科学研究会」において、研究主題「ヒトを題材にした遺伝の授業プラン～メンデル遺伝からタンパク質合成まで」を掲げ、生徒が主体的に生物の学習に取り組む授業改善について研究発表を行い、取組の成果を全道に広く普及させるなど、その実践は高く評価されている。

【主な業績】

- | | |
|--------------|--------------------------------------------|
| 平成22年度 | 日本生物教育会「日本生物教育会全国大会（兵庫大会）」研究発表 |
| 平成23年度 | 北海道高等学校理科学研究会「北海道高等学校理科学研究会全道大会（十勝大会）」研究発表 |
| 平成23年度～令和元年度 | 北海道高等学校理科学研究会研究部 生物科目代表 |